

事業群評価調書（令和7年度実施）

基本戦略名	3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る	事業群主管所属・課(室)長名	企画部 政策企画課	内田 正樹
施策名	3 持続可能で魅力ある都市・地域づくり	事業群関係課(室)		
事業群名	④ I Rの整備や新幹線の開業等を見据えた大村湾周辺地域の活性化	令和6年度事業費(千円)	※下記「2. 令和6年度取組実績」の事業費(R6実績)の合計額	10,800

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)						(取組項目)				
九州新幹線西九州ルートの開業や I R誘致の動きを見据え、本県を訪れた方に大村湾周辺地域から離島地域を含めた県内各地域への周遊を促し、県民も含め利便性が高くストレスのない移動の実現を目指すため、MaaS等の新たなモビリティサービスの導入を図り、観光地域づくりを推進します。						i) MaaSをはじめとする新たなモビリティサービス導入の推進				
事業群	指 標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標（年度）	（進捗状況の分析） 令和4年8月に、長崎県においてMaaSアプリ「my route」を導入済み。 令和5年度においては、MaaSのさらなる推進に向けた九州MaaSの導入にかかる計画等を検討する会議に参加した。 令和6年度においては、九州各県や交通事業者等で構成される「（一社）九州MaaS協議会」に参画し、8月から九州MaaSのサービスが開始された。
	MaaS等新たなモビリティサービスの導入	目標値①		—	—	導入			導入（R5）	
		実績値②	(R3)	—	導入				進捗状況	
		達成率②／①		—	—	—			達成	

2. 令和6年度取組実績（令和7年度新規・補正事業は参考記載）

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費（単位:千円）			事業概要 令和6年度事業内容及び実施状況 (令和7年度新規・補正事業は事業内容)	指標（上段：活動指標、下段：成果指標）				令和6年度事業の成果等
				R5実績	うち 一般財源	人件費 (参考)		主な指標	R5目標	R5実績	達成率	
				R6実績					R6目標	R6実績		
				R7計画					R7目標			
				事業実施の根拠法令等								
事業期間	法令による 事業実施の 義務付け	県の裁量 の余地が ない事業	他の評価 対象事業 (公共、研究 等)									
所管課(室)名				事業対象								
取組項目 i	○	1	MaaS推進事業費				●事業内容 「（一社）九州MaaS協議会」に参画し、九州MaaSのサービス開始及び利用拡大・普及促進に取り組む。 ●実施状況 「（一社）九州MaaS協議会」において、九州各県や交通事業者等と協議を重ね、令和6年8月に九州MaaSのサービスが開始された。	【活動指標】				●事業の成果 「（一社）九州MaaS協議会」に参画し、九州各県や交通事業者等と協議を重ね、令和6年8月から九州MaaSのサービスが開始された。利用者にとって利便性の高いサービスを提供することで、国内外からの移動需要の創出や交流人口の拡大が図られる。 ●事業群の目標達成への寄与 九州MaaSのサービス開始により、本県のMaaSのさらなる推進に寄与する。
				10,800	10,800	3,942		関係事業者等が開催する協議会への参加回数（回）	3	7	233%	
				10,994	10,994	3,939						
								R6：九州MaaSへの参画	参画	参画	100%	
								【成果指標】				
						R7-：「my route」アプリの県内ダウンロード数（累計）（件）						
			R6-8									
			政策企画課	—	—	—	九州各県の自治体および民間事業者、サービス利用者等		19,000			

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i MaaSをはじめとする新たなモビリティサービス導入の推進	
●実績の検証及び解決すべき課題 九州MaaSは、九州全域で取り組むことで、広域的なルート検索や周遊チケットの提供、観光施設との連携など、様々なサービスの利便性向上や公共交通の維持・確保、交流人口の拡大による経済活性化にもつながるものであるため、九州MaaSの普及促進及び参画事業者の拡大が重要な課題である。	●課題解決に向けた方向性 九州MaaS協議会の一員として、九州MaaSのさらなる普及促進を図るため、九州MaaSの利用拡大に向けたPR及び官民連携の推進に取り組む。

4. 令和7年度見直し内容及び令和8年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	令和7年度事業の実施にあたり見直した内容	令和8年度事業の実施に向けた方向性		
			事業期間		事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			所管課(室)名				
取組項目 i	○	1	MaaS推進事業費	九州MaaS協議会の一員として、九州MaaSのさらなる普及促進及び利用拡大を図るため、九州MaaS協議会が主催する各種会議やワーキンググループへの参加を通じ、九州MaaSの利用拡大に向けたPR及び官民連携のさらなる推進に貢献する。	③⑥⑨	前年度に引き続き、九州MaaSの利用拡大に向けたPR及び官民連携のさらなる推進に貢献する。 加えて、九州MaaS協議会への参画を達成したことを踏まえ、同協議会の事業内容を考慮し、所管する庁内担当部局を調整・検討する。	改善
			R6-8				
			政策企画課				

注：「2. 令和6年度取組実績」に記載している事業のうち、令和6年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】
① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案（制度改正要望）する必要はないか。
⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
⑩ その他の視点